

広報

しょうぼう さつま

119

SATSUMA FIRE DEPT. Public relations magazine

Vol.43

令和8年7月発行

編集・発行

さつま町消防本部

鹿児島県薩摩郡さつま町時吉366

TEL 0996-52-0119

FAX 0996-53-0119



消防力を上げる
消防車両
新タンク車

contents

- P2～P3 特集「新タンク車」徹底解説
- P4～P5 各係からのお知らせ
- P6 さつま町の消防団

町ホームページ
「消防サイト」



さつま町消防本部では、令和8年6月から新しい水槽付き消防ポンプ自動車Ⅱ型（以降タンク車）の運用を開始しました。

旧タンク車は平成22年に配備され、16年にわたりさつま町を守ってきましたが、老朽化に伴い更新となりました。



タンク車は、火災出動時、火点に近いところで初期活動するため、積載水量は旧タンク車と同じ2000リットルとし、水槽は軽量化のためポリプロピレン樹脂を採用。今回の車両更新で一番目を引く黒いフロントバンパーは、デザイン性に加え耐食、耐摩耗、防滑に優れているポリウレタという塗装を採用。後席隊員昇降ステップ、車両側面の可動式ステップにも同塗装を採用。



新タンク車

水槽付き消防ポンプ自動車Ⅱ型

さつま町
消防本部

徹底
解説

シャシ・キャビン

シャシはダブルキャブ（前後2列の座席）で消防専用エンジンを搭載。巻き込み防止センサーや衝突防止センサーなどの安全装置が搭載された最新の消防専用シャシ。キャビンはハイルーフを採用し、後席は隊員が立つて活動準備が行えるように設計した。



身長 180cm の隊員

緊急消防援助隊登録車両

旧タンク車と同じく、緊急消防援助隊登録車両のため、県外派遣時の身体的負担の軽減を考慮し設計した。

被災地では、災害の規模や気象等によって車中泊も宿営方法のひとつになることから、後席の手摺りを可動式にすることで、運転席・助手席のシートをリクライニング可能とした。これにより運転席・助手席で仮眠環境を確保できるようにした。



資機材のバッテリー化

更新に伴い、送排風機、投光器、チェーンソー、レスキューソーなどの資機材をバッテリー式とした。活動の迅速性はもちろんのこと、騒音等の活動環境の改善にも対応。



夜間活動用作業灯

車両側面には、夜間活動を強力にサポートするバー型LED作業灯、収納庫内タイヤ周り、可動式ステップにLED照明を採用し夜間活動の安全性を劇的に向上させている。



新しいタンク車は、最新の装備を備えており、今まで以上に迅速かつ効果的な火災対応が可能となりました。

この車両等の性能を最大限活かすため、隊員1人ひとりが新しい装備や機能、その操作について十分理解し、訓練を積み重ね、町民の皆さまの安心・安全のため努めてまいります。



日中の見え方



夜間の見え方（ライト照射）



反射材で夜間視認性向上

後部全面に、反射材でシエフロン・マーキングを採用。シエフロンとはフランス語で山形袖章を意味し、通常は「人」の形を指すが、緊急車両の安全マーキングとして逆向きの「V」にした。

側面の本部名等の車体表記にも反射材を採用し、夜間でもさつま消防本部の車両認識を容易にした。

後部のシエフロン・マーキングや側面の「S」の反射材を車両と同系色にすることで、日中は特に目立たないが、夜間、車のヘッドライトなどの光が当たると、光源に向かって反射するので、高い視認性による追突防止の効果が期待できる。

車両見学
大歓迎!



炎天下の携行缶の置き場所に注意！ （危険物係）

夏の除草作業時、携行缶はどのように保管していますか？

直射日光で携行缶が温められると熱膨張により内圧が上昇します。この状態で蓋を開けると、ガソリン等が噴き出る危険※があります。

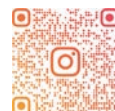
（※ガソリン等の噴出により皮膚の火傷や眼球の損傷、引火の危険）

携行缶は、日陰などの涼しく風通しのよい場所に保管しましょう。また、蓋を開ける前に、必ずガス抜き調節ねじを操作し、圧抜きを行ってください。

携行缶の外観や蓋等のパッキンなども定期的に点検を行い、損傷や漏れがないかを確認しましょう。**正しい知識を持ち、適切な管理・安全な取扱いを徹底し、危険を未然に防ぎましょう。**



動画を作成しました 視聴して下さい



Instagram



YouTube

鹿児島県救助技術指導会に出場 （警防係）



令和8年5月22日、日置市の鹿児島県消防学校で第48回鹿児島県消防救助技術指導会が開催されました。

指導会には、県下20消防本部（局）から選抜された322人の救助隊員が、磨き抜かれた救助技術を披露しました。

さつま町消防本部からは、署内選考会を突破した10名が4種目（はしご登はん、ロープブリッジ渡過、引揚救助、ほふく救出）に出場しました。全隊員が全国大会等出場を目標に掲げ訓練を行ってきました。残念ながら目標には届きませんでしたが、県内の救助隊員と技術を競い、研鑽を深める貴重な経験となりました。

この訓練で得た技術、忍耐力、チームワークで、町民の生命・身体を守るべく、今後も訓練に励んでまいります。



住宅用の消火器！ 交換・購入と廃棄 （予防係）

交換・購入

住宅用の消火器は、一般家庭で使いやすいように開発された消火器です。使用期限は5年程度（業務用の記載がある消火器は10年程度）。期限の過ぎた消火器は、正常に使用できないこともありますので、新しい消火器に取り替えてください。

※住宅用の消火器は、薬剤の詰め替えはできません。

ホームセンター、防災用品店等で購入することができます。

廃棄

消防署では、消火器の回収等はありません。専門業者、または消火器販売店等にご相談ください。（※費用がかかる場合があります。）



消防職員採用試験（さつま町職員）のご案内（総務係）

さつま町消防本部では、消防職員採用試験（さつま町職員）の受験申し込みを行っています。

試 験 日 令和8年9月20日（日曜日）

受験申込受付期間 令和8年7月1日（水曜日）～8月7日（金曜日）まで
土曜日、日曜日、祝日を除く 午前8時30分～午後5時15分
※郵送の場合、8月7日当日消印 まで受付

受験申込提出先 さつま町消防本部 消防総務課総務係

受験申込書等の交付場所等

- さつま町消防本部（消防署） 消防総務課 総務係
- さつま町役場 本庁 総務課 行政係
- ホームページからダウンロード
- 郵送で受験申込書等を取り寄せる（返送用封筒、140円切手必須）

受 験 資 格 平成10年4月2日から平成21年4月1日までに生まれ、
高等学校以上の学校を卒業した者又は令和9年3月までに
卒業見込みの者 ※その他詳細条件等有

詳しくは町ホームページ「消防サイト」で確認、または、さつま町消防本部
消防総務課総務係へお問い合わせください。

お問い合わせ先 消防総務課総務係 0996-52-0119



西 一樹 消防長就任あいさつ



この度、さつま町消防本部の消防長に就任し、皆様の生命と財産を守るという
消防の最も重要な使命を担うこととなりました。

近年、全国的に自然災害は激甚化・頻発化しており、ここさつま町におきましても、いつ、どのような災害が発生するか予断を許さない状況であります。また、人口は減少しているものの高齢化の進展に伴い、救急搬送件数の減少は見られないところであり、消防を取り巻く環境は日々変化しております。

このような状況を踏まえ、皆様が、このさつま町で安心して暮らしていけるよう、
消防長として、そして一消防人として、職員一同、職務を遂行してまいります。





さつま町の消防団

消防操法大会出場に向けて訓練中！

さつま町消防団 永野分団が、令和8年度 消防操法大会出場に向けて、日々訓練に励んでいます。

令和6年度から、さつま町消防団は、消防操法大会への出場は希望制に変更していましたが、今年度、永野分団が出場の意志を示し、薩摩支部の代表として消防操法大会（ポンプ車の部）に出場することとなりました。

団員は、仕事や私生活の時間を調整しながら、8月の鹿児島県消防操法大会に向けて熱心に訓練を重ねています。



鹿児島県消防操法大会は、2年に1度開催され、県内の11支部から代表が出場します。大会では、速さだけではなく、「動作の正確性」「号令と規律」「チームの調和」なども審査され、優勝チームは全国大会へ出場します。

日ごろの訓練で磨き上げた技術とチームワーク、迅速かつ正確な動作、地域の安全を守る誇りを胸に、分団一丸で大会に臨みます。訓練を見かけた際には、温かいご声援、応援をよろしくお願いします。



**あなたのチカラがさつま町の
安全と安心を守ります**

消防団員・女性消防団員募集

問い合わせ先 さつま町消防本部 消防総務課 消防団係

Tel 0996-52-0119 Fax 0996-53-0119 鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 366 番地